

紀の体

 和歌山市管工事業協同組合



四郷の串柿(伊都郡かつらぎ町四郷地区)

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail: wakayama@w-kankoji.com

「400年の歴史を誇る日本一の串柿の里」

伊都郡かつらぎ町四郷地区（広口・滝・東谷・平）は、400年前から「日本一の串柿の里」として長い歴史と伝統を育んできました。10月下旬から11月末頃まで、家々の軒先に茜色の柿を吊るしている様子は、晩秋の風物詩として訪れる人々を楽しませてくれます。

四郷地区区長、町内会長、四郷地区農協運営委員、串柿生産部会等により組織された串柿まつり実行委員会が中心となって実施してきた串柿まつりは、近年では知名度も上がり、県内外から約5000人の来訪者がある一大イベントとなりました。

－ 目次 －

和歌山市主催総合防災訓練	1
役員会報告	3
組合の動き	5
青年部の動き	8
雑学の泉	10
会社訪問	11
趣味のコーナー	12
編集後記	13

特集

和歌山市主催 総合防災訓練

和歌山市総合防災訓練は、毎年9月1日の防災の日直前の日曜日に開催されています。当組合での防災訓練への参加は、和歌山市水道局との間で締結された「災害時における水道施設の応急復旧の応援に関する協定書」（平成12年6月1日締結）に基づき、平成13年8月開催の第37回総合防災訓練より参加しているものです。

平成23年度総合防災訓練では、防災関係機関、各種関係等36団体が参加して行われました。当組合からは毎年6名が参加、今年度は災害担当役員6名に参加をお願いしました。

□平成23年度 和歌山市総合防災訓練要綱

1. 目的

本訓練は、大規模な地震災害に備えるため「災害対策基本法」及び「和歌山市防災計画」

に基づき、地域住民及び防災機関、各種関係団体との緊密な連携のもと総合的な防災訓練を実施し、地域住民の防災対策の充実と関係機関との連携強化を図るを目的とする。

2. 日時

平成23年8月28日(日) 午前9時～12時

3. 場所

和歌山市せせらぎ運動公園左岸河川敷

4. 主催

和歌山市

5. 参加機関

防災関係機関、各種関係団体等（36団体）

6. 訓練想定

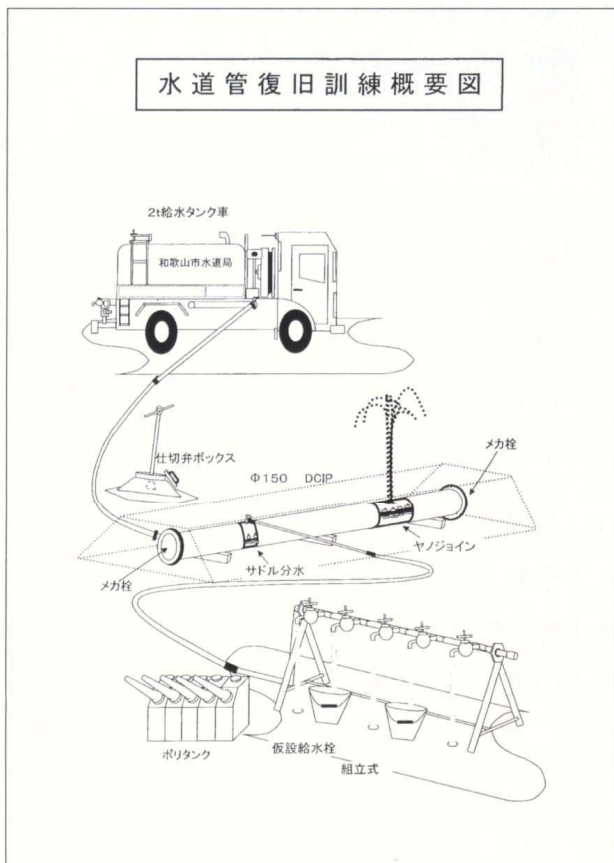
平成23年8月28日午前9時00分頃、紀伊半島沖を震源とするM8.6の地震発生により、和歌山市では震度6弱を観測し、家屋・建造物の倒壊、一部地域では火災が発生している。また海岸地域では、津波による浸水被害も予想された。

この地震により、電力・ガス・水道管のライフラインも停止している。

市長はただちに地域防災計画に基づき「災害対策本部」を設置し、防災関係機関に出動要請を行い、住民の避難誘導、負傷者の救出、救護、消火、水防活動及びライフライン等の応急復旧を開始するとともに、地域住民は自主防災組織を中心とした避難、救出、消火活動を開始した。

◎和歌山市水道局と当組合が担当した訓練

- 給水車による緊急給水拠点の設置(水道局)
- 破損水道管の復旧及び仮設給水柱の設置(組合)





① 出動



② 訓練開始



③ 配水管復旧工事



④ 仮設給水柱設置のための穿孔工事



⑤ 水道管の復旧と仮設給水柱の設置



⑥ 閉会式

役員会報告

6月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成23年6月14日(火) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事10名、監事2名
- 1. 出席役員 理事10名、監事2名

議事の大意は次のとおり

第1号議案 第65回通常総会の費用清算について

議長の名により事務局長から、第65回通常総会の諸費用の清算につき、別紙により詳細に説明、提案したところ全員異議なく賛成にて可決。

第2号議案 平成23年度 パートタイマーの就業規則の変更について

事務局長から、パートタイマーを正社員に出来るよう就業規則の変更案を提案したところ、全員賛成にて可決。

第3号議案 平成23年度 親睦旅行について

事務局長から、親睦旅行について、希望者の多い韓国旅行について、ソウル中心とプサン中心の2案を提案、審議の結果、ソウル案を全員賛成にて可決。

第4号議案 平成23～24年度 役員の担当、組織表(案)について

事務局長から、別紙にて役員の担当組織表を提案、原案どおり全員賛成にて可決。

第5号議案 「選挙規定」の制定について

事務局長から「組合役員の選挙規定」(案)について、別紙により説明、次の総会までには結論を出したいので、各役員において検討してほしい旨、提案した。

報告議題

事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

- 1. 消防設備士資格取得について
- 2. 平成23年度給水装置工事主任技術者試験について
- 3. 地山の掘削・土止め支保工作業主任者技能講習について
- 4. 「建設業における熱中症予防指導員研修」について
- 5. 平成23年度8月～11月期の各種講習日程について（建設業災害防止協会）
- 6. 電子入札システムによる模擬入札実施について（和歌山市）

7月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成23年7月12日(水) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事10名、監事2名
- 1. 出席役員 理事9名、監事2名

議事の大意は次のとおり

第1号議案 平成23年度 和歌山市主催の防災訓練参加について

議長の命により事務局長から、本年度の和歌山市主催の総合防災訓練参加について、和歌山市より別紙のとおり参加要請があり、本年度は、災害担当役員（6名）で対応したい旨提案、全員異議なく了承した。

第2号議案 組合親睦旅行について

事務局長から、本年度の親睦旅行について韓国（ソウル）と先月の役員会で決定していたが、その行程、費用見積りを別紙により提案、全員賛成にて可決。

第3号議案 お盆の組合業務体制について

事務局長から、お盆の組合の業務体制について、組合カレンダーどおりとすることを提案、全員賛成にて可決。

第4号議案 水道局検針票への広告掲載について

事務局長から、水道局検針票への広告掲載について、今年度2回目の掲載をしたい旨提案、全員賛成にて可決。

報告議題

事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

1. 青年部役員の新体制について
2. 塩ビリサイクルシステムの運用拠点の変更について
3. 工事用カメラの特別斡旋について

「給水装置の事故事例に学ぶ」を配布

～事故対応と予防に向けて～

水道は、需要者に清浄な水を供給することを目的としていますが、近年、給水装置の基準に適合しない器具の接続や、不適切な工事、給水用具等の経年劣化による機能・性能の低下により、水質の異常、漏水、逆流、ウォーターハンマー等の事故が多発しています。

本書は財団法人給水装置工事技術振興財団が、給水装置関係技術実態調査委員会を組織し、水道事業者、簡易水道事業者、全国管工事業協同組合連合会地方支部、給水管・給水用具メーカー中から135団体を抽出、事故事例のアンケート調査をベースに、事故事例と対応策を記録した生きた教本といえます。

当組合では、事故事例の情報を共有することで、組合員各位の事故防止と更なる技術の向上を願って、本書を配布することにしました。



組合の動き

第43回紀州おどり「ぶんだら節」に組合連が出場



真夏の8月6日の夜、和歌山市の市民まつり、第43回紀州おどり「ぶんだら節」が開催されました。連日の猛暑にもめげず、私たち組合連は大人と子どもを合わせて総勢90名が参加し、元気にぶんだら節を踊りました。

踊りに参加する目的は、和歌山市の給水工事の指定工事店とその組合のアピールです。日頃から市民の皆さんとは、道路での漏水修繕工事や宅内の水漏れメンテナンス工事で接点があり、お祭りに参加して、組合が会場のアナウンスやテレビ放映で紹介されることで、水道工事業者と組合のイメージアップを図っています。

組合連は、踊りは浴衣の女性陣を筆頭に子ども陣、男性陣で構成し、あいだに手作りの山車を曳く、ちびっこ陣がはいました。

今年の組合連のハイライトは、配管技術を駆使した山車でした。企画立案、作成まで組合の青年部の皆さんが、がんばりました。軽トラ

の荷台に大きな水道の蛇口を設置し、両サイドにも水栓を並べ、蛇口から出るのは、ドライアイスの煙の計画です。配管の途中でドライアイスを入れ、水をかけて煙を発生させて、各蛇口にためていっせいに噴射する仕掛けです。水道配管では、水圧で蛇口から水が出ますが、上にいかない性質のドライアイスの煙で、蛇口から出る水に見せることが課題でした。事前に試験運転をし、大小の蛇口の煙の材料を変更し、大きな蛇口にジェットスモークを使用すること等、改良を重ねました。

会場で蛇口の山車をみて、みんなの楽しみが膨らみ、踊りながら後ろが気になりましたが、白い煙が蛇口から出たときは感動もので、沿道の人々も足を止めて見ていました。さすが、配管のプロ集団です。

当日の楽しみの一つに、踊る前に集まる出発に会食があります。組合の三階は、組合員や夕



爽やかな踊りの女性陣



山車を引くちびっこ陣



山車の蛇口から水が!! ジェットスモークです



楽しく踊る子供たち

方仕事を終えた職人さん、踊りに参加する家族の方々でいっぱいになりました。ぶんだら節の音楽が流れこどもたちが自由に遊びまわる中、ピザやおにぎり、濱本事務局長が作った鳥のから揚げ、フライドポテト、お野菜のサラダとたくさんのお料理で、みんなおなががいっぱいになり、お祭り気分、踊りの場所へ出発しました。

紀州おどりのテレビ放映では、私たちの組合連が、爽やかにかっこよく映し出され、組合連について紹介がありました。組合の横断幕や看板を持って元気に踊る男性先陣を筆頭に映し出され、子供達のいきいきと輝きながら踊る姿が、ひととき目を引きました。気になっていた水道の山車は、大小の蛇口からりっぱに白い煙を吐

く様子に、山車をひくちびっ子たちもうれしそうで、大人たちも浴衣や半被姿で一生懸命頑張って、連を引き締めていました。

紀州おどりへの出場は、組合と組合員でつくる楽しいイベントです。出場者の募集から始まり、踊りの練習、衣装の手配、山車の作成、当日の出発式等と組合青年部や組合事務局で取り組みました。踊りを終えた後のみんなの輝く笑顔や語らいの中で、大きな達成感と来年へのエネルギーをもらいました。

来年もぶんだら節と一緒に踊り、楽しい夏の思い出を作りませんか？皆様方のご参加を心からお待ちしています。

組合事業部へ「製氷機」を設置

今年も昨年同様、35度を超える猛暑続きの夏でした。組合では熱中症対策に、大型の製氷機を設置しました。場所は、組合員各位が利用しやすい、事業部の1階階段の上り口です。

氷は、現場作業の方々が、飲み物や首に巻くタオルに入れて利用するなど、暑さ対策に活躍

しました。氷の常備容量が大きいので、夏のイベントにも重宝しました。

組合員の皆様、来年の暑い季節には、組合の氷を是非ご利用下さい。

